

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2015年3月14日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(寺岡先生:午前のみ)、エコウイング会員/ 4名(午後5名)、 団体会員(明石高専)/3名、事務局/1名 計 10名

● 午前

今日は前夜からの雨が残り、集合時間の朝9時にはまだ小雨が降っていました。しばらく会議室で待機していると、10時ごろに雨が上がったので、「あかし市民自然図鑑／昆虫編」の予備調査の観察を始めました。3月半ばになったとはいえ、まだ気温も低く雨上がりということもあって、観察できた昆虫はあまり多くはありませんでした。

それでも、チョウやガ、カメムシ、コウチュウのなかまを見つけました。特に、希少種とされるウシカメムシも観察できました。気温が上がっていないため、いずれもじっとして動かず、木の幹や葉陰などに潜っていました。去年のニイゼミの抜け殻がまだ木の幹に残っていました。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



ウシカメムシ



ヤマトデオキノコムシ



名前不明



キチョウ



ガのなかま



まだ残っていたニイニゼミの抜け殻



● 午後

午後は、2班に分かれて里山整備の作業をしました。一班は公園内の水路の外来種の水草を取り除いたり、ごみの掃除などを行いました。もう一班は、公園入口の竹林で竹の間伐と林床の片付けなどに取り組みました。

最後に、今日の参加者全員で記念撮影をして、定刻の午後3時ごろに活動を終わりました。

水路の外来種の除去作業(その1)



水路の外来種の除去作業(その2)



竹林の整備作業(その1)



竹林の整備作業(その2)



活動後の記念撮影



● 次回の活動は、来年4月7日(土)の朝9時から、午前中は市民自然図鑑の昆虫観察で、1回目の本調査を実施します。午後は里山整備活動の予定です。

春本番を迎え、色々な昆虫を観察することができると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

3月も中旬になり、そろそろ冬鳥は北の国へ帰っていく時期ですが、今日の金ヶ崎公園では、まだジョウビタキやシロハラ、ツグミ、ルリビタキなどの冬鳥が観察できました。そのほかに、野鳥では常連のコゲラやエナガ、ハクセキレイ、キジバト、メジロなどが姿を見せ、アカゲラも観察しました。一方で、今日はふもとの北浦池のカモ類やカイツブリなどの水鳥は姿を確認できませんでした。

ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



シロハラ



ツグミ



ルリビタキ(メス)



コゲラ



エナガ



ハクセキレイ



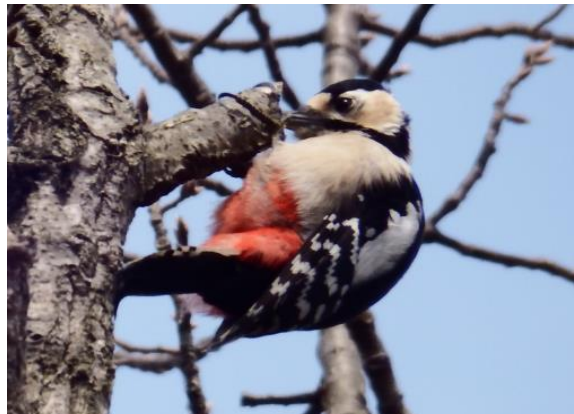
キジバト



メジロ(正面からのユーモラスな表情)



アカゲラ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

植物では、コブシの花のつぼみが膨らみ、もうすぐ咲き出しそうでした。ホトケノザやヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリなどの花が咲き、モチツツジも咲き出していました。キノコのなかまでは、ツチグリを観察しました。

竹林の整備をしていると、黒っぽいチョウが飛びだしましたが、落ち葉の中に止まるとすぐには見つけることができませんでした。よく探してみたら、クロコノマチョウでした。落ち葉に溶け込んで、まるで忍者のようでした。

コブシの花のつぼみ



ホトケノザの花



ヒメオドリコソウの花



オオイヌノフグリの花



モチツツジの花



ツチグリ



落ち葉に溶け込んだクロコノマチョウ



左の写真の中央部を拡大してみました

